



2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年3月11日

上場会社名 神島化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4026 URL <https://www.konoshima.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布川 明
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部管掌 (氏名) 藤村 倫夫 TEL 06-6232-5350
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の業績(2025年5月1日~2026年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	20,793	0.7	1,895	38.4	1,811	38.1	1,274	22.8
2025年4月期第3四半期	20,642	7.8	1,369	3.9	1,312	2.1	1,037	6.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	140.43	139.71
2025年4月期第3四半期	114.54	113.93

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	32,076	14,212	44.1
2025年4月期	30,731	12,964	42.0

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 14,158百万円 2025年4月期 12,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2026年4月期	—	23.00	—		
2026年4月期(予想)				26.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の詳細については本日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年4月期の業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	1.1	2,400	34.4	2,300	33.9	1,600	11.6	176.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当期の業績予想の詳細については本日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年4月期3Q	9,240,000株	2025年4月期	9,240,000株
2026年4月期3Q	152,916株	2025年4月期	174,740株
2026年4月期3Q	9,078,301株	2025年4月期3Q	9,060,476株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、緩やかな回復基調となりました。一方で、慢性的な物価上昇に加えて、中東やウクライナにおける紛争の長期化などの地政学的リスクの高まりや米国の関税政策の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において新設住宅着工戸数は、改正建築基準法及び改正建築物省エネ法の施行に伴う駆け込み需要の反動減により、前期比マイナスとなりました。

このような経営環境の中、当社は、『環境対策等の社会課題へ対応することによって持続的成長モデルを構築し、社会貢献と利益拡大を両立』、『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』の中期経営計画の基本方針に基づき、経営に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は20,793百万円と前年同四半期比151百万円(0.7%)の増収となりました。営業利益は1,895百万円と前年同四半期比525百万円(38.4%)の増益、経常利益は1,811百万円と同499百万円(38.1%)の増益、四半期純利益は1,274百万円と同237百万円(22.8%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建材事業

住宅分野は、前年好調であったけい酸カルシウム板「プライケイカル」が減少したものの、高付加価値製品の高級軒天ボードやサイディングの拡販により、増収となりました。

非住宅分野は、ビル工事遅れが依然として続いており、減収となりました。

これらの結果、売上高は11,551百万円と前年同四半期比88百万円(0.8%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、燃料費・原材料費の上昇の影響があったものの、値上げ効果や高級軒天ボードやサイディングの拡販などにより、1,055百万円と同294百万円(38.7%)の増益となりました。

② 化成品事業

マグネシウムは、米国の関税政策による影響で、高付加価値製品であるサプリメント用途の酸化マグネシウムが低調であったものの、工業用途の酸化マグネシウムの拡販を進めたことにより、増収となりました。

セラミックスは、レーザーや蛍光体の受注減により減収となりました。

これらの結果、売上高は9,242百万円と前年同四半期比62百万円(0.7%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、前記のとおり、高付加価値製品の酸化マグネシウムの販売減による影響はあったものの、値上げ効果やコスト改善などの収益改善により、1,532百万円と同335百万円(28.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は32,076百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ1,344百万円増加となりました。主な増加要因は、投資有価証券が525百万円、現金及び預金が484百万円増加したことによるものであります。

負債は17,864百万円と前年度に比べ97百万円増加となりました。主な増減要因は、電子記録債務が324百万円増加、短期借入金が300百万円増加、流動負債のその他に含まれる未払消費税が300百万円減少したことによるものであります。

純資産は14,212百万円と前年度に比べ1,247百万円増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が866百万円、その他有価証券評価差額金が358百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の業績につきましては、2025年6月11日に公表いたしました数値から変更しております。詳細については、本日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,439	1,924
受取手形及び売掛金	3,752	3,883
電子記録債権	1,113	1,276
商品及び製品	2,796	2,689
仕掛品	853	961
原材料及び貯蔵品	1,469	1,562
その他	382	519
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,806	12,815
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,555	5,437
機械及び装置（純額）	8,097	7,142
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	1,251	2,507
その他（純額）	841	812
有形固定資産合計	17,165	17,320
無形固定資産	100	77
投資その他の資産		
投資有価証券	418	944
繰延税金資産	769	521
その他	472	398
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	1,658	1,864
固定資産合計	18,924	19,261
資産合計	30,731	32,076

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,799	1,972
電子記録債務	1,018	1,342
短期借入金	5,700	6,000
1年内返済予定の長期借入金	1,120	1,217
未払法人税等	128	326
賞与引当金	466	214
製品保証引当金	82	79
設備関係支払手形	3	3
設備関係電子記録債務	1,210	1,124
その他	1,964	1,598
流動負債合計	13,493	13,880
固定負債		
長期借入金	2,104	1,899
退職給付引当金	1,871	1,940
訴訟損失引当金	45	13
その他	252	131
固定負債合計	4,273	3,984
負債合計	17,766	17,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,094	1,095
利益剰余金	10,546	11,412
自己株式	△207	△181
株主資本合計	12,754	13,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	153	511
評価・換算差額等合計	153	511
新株予約権	57	53
純資産合計	12,964	14,212
負債純資産合計	30,731	32,076

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
売上高	20,642	20,793
売上原価	15,439	14,821
売上総利益	5,202	5,972
販売費及び一般管理費	3,833	4,076
営業利益	1,369	1,895
営業外収益		
受取配当金	12	15
物品売却益	8	8
その他	16	13
営業外収益合計	36	37
営業外費用		
支払利息	79	102
その他	14	18
営業外費用合計	93	121
経常利益	1,312	1,811
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	13	13
固定資産除却損	26	3
特別損失合計	39	16
税引前四半期純利益	1,272	1,794
法人税、住民税及び事業税	250	439
法人税等調整額	△15	80
法人税等合計	234	520
四半期純利益	1,037	1,274

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,462	9,179	20,642	—	20,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,462	9,179	20,642	—	20,642
セグメント利益	761	1,196	1,957	△588	1,369

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△588百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△588百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,551	9,242	20,793	—	20,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,551	9,242	20,793	—	20,793
セグメント利益	1,055	1,532	2,587	△692	1,895

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△692百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△692百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	1,485百万円	1,479百万円